

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 経営	経営学 I	山口 憲二	1 年次	秋

授業のキーワード	経営戦略、競争優位、ビジネスシステム、事業ポートフォリオ、国際化
授業の概要	経営学を①環境のマネジメント、②組織のマネジメント、③矛盾と発展のマネジメントの3つに分けると、経営学 I では①環境のマネジメントを扱い、残りの部分を経営学 II で扱います。
期待される学習成果 (目標)	1. 経営学とは何かを、具体的、抽象的両面から説明できる。 2. 経営戦略論の代表的な理論が理解できる。 3. 経営・ビジネスに対する問題意識を持ち、そのテーマ設定とプレゼンができる。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	企業マネジメントとは	オリエンテーションを兼ねて経営学の全体像について講義する。	第 9 講	企業構造の再編成	M&A 等に代表される企業構造の再編成が、事業の境界線の書き換えであることを理解する。
第 2 講	経営戦略の理論	経営戦略を考える際の2つの立場(ポジショニング論と資源論)について理解する。	第 10 講	国際化の戦略	経営国際化の意義とパターン、国際ポートフォリオについて理解する。
第 3 講	経験曲線と規模の経済	経験曲線(累積生産量とコストの関係)を規模の経済との対比で理解する。	第 11 講	経営国際化の事例	わが国の大手企業、中小企業の国際化の事例について講義する。
第 4 講	競争のための差別化	製品市場を1つに限定して、そこでの競争戦略の考え方を理解する。	第 12 講	資本構造のマネジメント	企業と資本市場の関係、および株式会社制度について理解する。
第 5 講	ポーターの競争戦略論	ファイブ・フォースモデルに代表されるマイケル・ポーターの競争戦略について理解する。	第 13 講	経営財務の基礎知識	前講の内容理解を補足するため、資本コストやレバレッジなどの概念を解説する。
第 6 講	競争優位とビジネスシステム	差別化には顧客接点(製品)の差別化と事業システムの差別化があることを理解する。	第 14 講	雇用構造のマネジメント	人的資源管理の経済学的な論理について理解する。
第 7 講	スピードの経済	業績を決める要素のうち、スピード(回転率)の経済について財務の側面から理解する。	第 15 講	プレゼンおよび全体のまとめ	・各自のテーマでプレゼン・プレゼンの講評と全体のまとめ
第 8 講	多角化と事業ポートフォリオ	事業多角化の意義と PPM など多角化戦略のツールを理解する。	定期試験		重要用語の理解、基礎知識、経営に対する問題意識を問う記述式試験を行う。
評価方法		定期試験 70%、プレゼンテーション 30%			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
伊丹・加護野『ゼミナール経営学入門』(第3版) 日本経済新聞社					